



一人一人の活力を生かした新たなコミュニティづくり コミュニティリーダー研修会

10月9日（水）に当センターを会場に、「一人一人の活力を生かしたコミュニティづくり」をテーマに神戸大学大学院教授の松岡広路様より御指導をいただきました。先生の講演で特に印象に残ったコミュニティづくりのポイントは、多様な価値を持つ人々が気軽に出会い学ぶことができる側面（親密圏）とお互いの生活をより良くするための実践的に活動する側面（公共圏）の両面が大切であるということです。コミュニティづくりの核となるリーダーは、その両方を境界にもつ「サブ公共空間」を取り入れたコミュニティづくりを意識することが大切です（図1）。その際にリーダーとして「持続可能な社会」を意識し、やみくもに成果を焦るのではなく、コミュニティの形成者として一人一人の居場所と役割を確保してゆっくりと話し合いながら取り組み続けることが大切だそうです。このような持続可能な新たなコミュニティづくりが進むことが、自ずと多様な価値をもつ人同士の「出会い」と「協働」を生む「実践共同体」につながります。



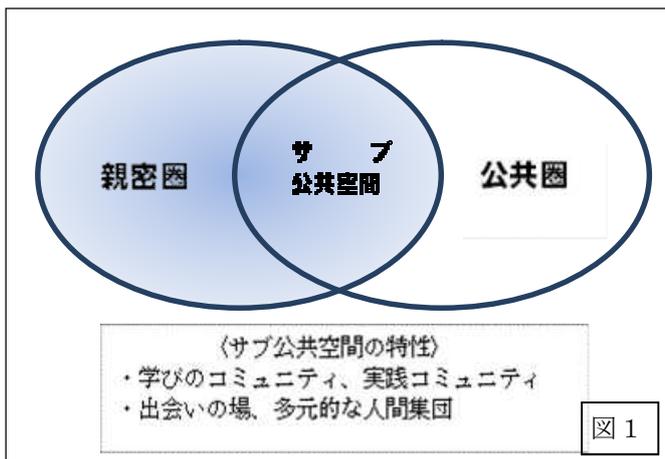
松岡広路先生

講師の松岡先生御自身も東日本大震災後から現在まで何度も学生と一緒に被災地を訪れ、地域再生のために「共に何ができるか」という視点を常に持ち、被災者と対話をしながら、コミュニティ再生の活動を続けておられます。まさに「理論」と「実践」とが結びついた講義でした。



グループワークの体験

また、研修会後半では、様々なグループワークの仕方を体験することで、多様な個が出会い、話し合うための手法を実践的に学ぶことができました。参加者一人一人が、コミュニティリーダーとしての基礎を築く研修会となりました。



基礎から応用まで体験する会議進行ファシリテーション コーディネーター養成研修会

9月11日(水)・12日(木)の2日間、宇都宮大学地域連携教育研究センター 佐々木英和准教授を講師に招き、「コーディネーター養成研修会～基礎から応用まで体験する会議進行ファシリテーション～」を開催しました。佐々木先生の熱心な指導のもと、体験型の学習を通して、生産的な会議を構築するために必要な理論や手法を学びました。

講義では、会議には、相手を尊重しお互いの意見を引き出しあう『訊く』力が必要であることや、会議進行には、①現実の把握、②理想の描写、③理想実現への具体的方法の選択、という3つの視点が必要であることなど様々なお話をお聞きしました。

演習では、理論に基づき、コミュニケーションを深め相手から情報を引き出す一対一の対話トレーニングや、「みんなが話したく

なる雰囲気づくり」を体験するグループワークを実施しました。最後には「新潟県民がいきいき輝き活発な活動ができるためには？」というテーマで、受講者全員で実際に会議進行に挑戦しました。

会場は終始和やかな雰囲気に包まれ、受講者からは「会議を進めるための実践的な手法を知ることができた」「会議の進行をしてみたくなった」など研修での達成感や実践へ向けた意欲的な声が聞かれ、たいへん充実した2日間となりました。



グループワークの発表

地域連携推進 学校と地域の相互の視点で 学校職員・子ども支援コーディネーター研修会

9月19日(木)に当センターにおいて、東京学芸大学教授 松田恵示様を講師にお迎えし、学校と地域の相互の視点から、学校職員と子ども支援コーディネーターとの合同研修会を実施しました。

講演では、『教師の新しい専門性の一つとして、地域連携の視点から地域の多様な教育の担い手をコーディネートしていく必要性が増してきている。しかし、学校教育の現状を見ると、本来、地域や家庭で行われているべき教育の分担(道徳性や社会性の育成など)を学校が負担し、教師の多忙化につながっているのも現実である。学校と地域が相互の役割を明確にし、多様化、複雑化する教育環境を改善していくことが急務である。』という趣旨のお話がありました。

また、後半のグループ演習では「学校と地

域の連携を深めるために」というテーマで、意見交換がなされ、「信頼関係を築くネットワークづくり」「人を動かすのは人だ!」「活動を通して他者と他者がWIN、WINに!」「できるところから地域と学校で二人三脚」など示唆に富む意見が出されました。

地域連携推進に向けて参加者の意欲付けにつながった研修会となりました。



各グループの意見発表

お問い合わせはお気軽にどうぞ 生涯学習推進センターからのお知らせ

映画と講演 メディア研修特別講演会

近年、映像を手がかりに文化や歴史に触れることへの社会的関心が高まっています。そこで当センターでは、映像と学びについて学習する機会として、東京情報大学 伊藤敏朗教授をお招きして特別講演会を開催します。

当日は、伊藤敏朗監督作品「カタプタリ～風の村の伝説～」を上映後、講演を行います。映像を通して、ネパールの人々の細やかな感受性や優しい人間性、美しい自然に触れるとともに、映像制作に携わる楽しさや素晴らしさについて考えを深めるよい機会になることと思います。

受講申込みはお早めに 社会教育主事講習 B

国立教育政策研究所社会教育実践研究センター（国社研）が主催する標記講習会が平成26年1月22日～2月28日まで県立生涯学習推進センター他を会場に実施されます。講習は主に、国社研から全国各会場へのインターネットを使った動画配信で行われます。

お問合せ・お申込みは、当センターまでお願いします。お申込み締め切りは1月22日（金）です。国社研のホームページからも要項をダウンロードできます。（当センターHP「ラ・ラ・ネット」からリンク有り）

新潟県自作映像・ 視聴覚教材コンクール

作品募集

メディア研修特別講演会 「映画は国境を越えるか？」

日時：11月26日（火）

13:30～16:00

会場：新潟県立生涯学習推進センターホール

講師：伊藤 敏朗 様（東京情報大学教授）



伊藤敏朗先生

2008年にネパール映画初の日本人監督として

『カタプタリ～風の村の伝説～』を制作。

同年、ネパール政府国際映画賞を受賞。

申し込みが必要です。詳しくは当センターまでお問い合わせください。

講習日程

生涯学習概論（2単位）

1月22日（水）～1月28日（火）

社会教育計画（2単位）

2月3日（月）～2月7日（金）

社会教育特講（3単位）

2月10日（月）～2月19日（水）、2月21日（金）

社会教育演習（2単位）

・生涯スポーツの計画

1月29日（水）～1月31日（金）

会場：県立青少年研修センター

・教育施設整備の動向

2月20日（木）

会場：新潟市秋葉区文化会館

新潟県埋蔵文化財センター

・教育事業の立案・展開の実際

2月24日（月）～2月28日（金）

当センターでは、標記コンクールの作品を募集しております。

詳しくは当センターホームページ「ラ・ラ・ネット」に掲載されている開催要項をご覧ください。

映画ボランティアも活躍中 映画・ビデオ鑑賞会上映予定

「映画が好き」「映画の上映に興味がある」という方々が“映画ボランティアの会”を作り、「映画・ビデオ鑑賞会」の運営をしてくださっています。毎月1回ミーティングをして、およそ3ヶ月先までの上映作品を選び、毎月第4日曜日に上映しています。往年の名作あり、記録映画の秀作ありと、バラエティに富んだ作品を上映して、お客様に喜んでいただいています。「映画ボランティア」は随時受け付けています。興味のある方は、当センターまでお問い合わせください。

当センター所蔵の視聴覚教材や貴重な映像を、ホールを会場に上映しています。
定員186名、先着順で入場は無料です。

＜これからの上映予定＞

11月24日(日) 13:00~14:20

「世界自然遺産『知床』」「アイヌの結婚式」

12月22日(日) 13:00~15:15

「アルプスの少女ハイジ」

1月26日(日) 13:00~15:20

「シェーン」

さわやかメール

本紙1頁でレポートしたコミュニティリーダー研修会の講師神戸大学大学院教授松岡広路先生は、震災後の岩手県大船渡市で復興に向けた大船渡支援ワークキャンプを続けておられる。膨大な時間と情熱を注ぎ込んで、地域の人々一人一人を繋いだコミュニティづくりに力を注いでおられる。松岡先生は、「コーディネーターがコミュニティの方向を

決定してはいけない。」と力説される。コミュニティは、それを構成する一人一人の創意に基づいた、構成員一人一人のためのものでなければならない。

日本という大きなコミュニティでは、だれが求めているのか、だれが喜ぶのかわからない、庶民感覚では理解できないような改革が超高速で進められている。私たちのコミュニティづくりのためには、学びを通して人と人とが手をつなぐ社会教育が欠かせないと感じている。

新潟県生涯学習情報提供システム「ラ・ラ・ネット」

<http://www.lalanet.gr.jp/>

<http://www.lalanet.gr.jp/m>(携帯版)

家庭教育・子育て電話相談「すこやかコール」

TEL:025-283-1150 FAX:025-284-6019

生涯学習相談・情報提供

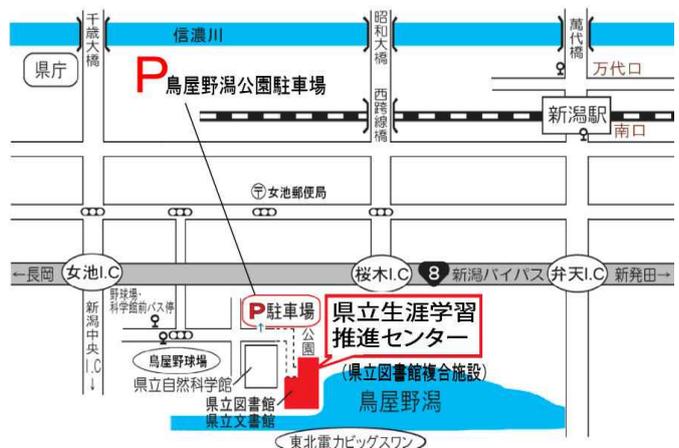
TEL:025-284-6119 FAX:025-284-6019

Mail: lalasoudan@mail.lalanet.gr.jp

施設等の貸出

生涯学習に関係する機関・団体等へ施設・視聴覚教材の貸出を行っています。

貸出施設:ホール(186名) 大研修室(100名)
(視聴覚教材・機材の貸出は登録が必要です。)



新潟県立生涯学習推進センター

新潟市中央区女池南3-1-2

TEL:025-284-6110 FAX:025-284-6019

Mail: nlpc@mail.lalanet.gr.jp

ホームページ: <http://www.lalanet.gr.jp/>

Twitter: http://twitter.com/lala_nlpc/